

里と山の文化祭
事業報告

西条里山活動隊

西条里山活動隊は西条市丹原町を活動の場とし、平成26年から開催している「里と山の文化祭」というイベントを機に、平成29年4月に誕生した地域の有志で構成されているグループです。

里と山の文化祭とは

「小さな集落ごとの、そこに脈々と受け継がれてきた人と人がつながり支え合う日々の営み。自然に寄り添いながら生きていく暮らし。ずっと大切に伝えていきたい、そんないろいろの文化祭」

平成26年から毎年11月に開催している里と山の文化祭では、丹原地区周辺で食べられていた、里いもと小豆を使った「ぼた煮」などの伝統食が味わえる里山食堂や、しめ縄作り体験などが楽しめる手仕事ブースの開設、田んぼを使ったゲームの開催、会場周辺の巨樹の散策会、地元の人達が自分の生業や取組などを語るお話テントを設けるなど盛りだくさんの内容です。

それと共に、近年、丹原地区でも大き

人と人をつないで
里山から広げる心豊かな暮らし

西条里山活動隊
代表 野島 貴子



な問題となつていいる空き家の増加などの地域課題をイベント内に組み込んで外に向かつて発信しようと、地域住民が案内する「空き家見学ツアー」を企画していますが、毎回、市外から多数の参加者があり、このツアーを機に丹原地区への移住へと繋がった例もありま



里と山の文化祭

ブース出店する地域の人々との交流などで、丹原地区の空気感を感じてもらえているのではないかと思います。

この文化祭は、地域住民やPTA、地元3高校、行政などの協力で開催し、回を重ねるごとにゆるやかな繋がりが生まれました。イベントに来ていただいたお客さまからは、「子供の頃に食べた懐かしい味に出会えた」「地域の巨樹を知ること自然の大切さを実感した」「昔は当たり前だった田んぼでの遊びが子供と体験出来て良かったなどの声が聞かれました。

これから

秋の「里と山の文化祭」の他に、春には「たんばランラン♪春をたのしもうDAY」の開催も始めました。イベントやワークショップの開催などで、いろいろな人を巻き込んで人の繋がりを生み出し、繋がり支え合う事の心強さ、安心感のある地域を作っていけたらと思います。そしてまた、地域の課題を自分事として捉える人が増えるような事に取り組んでいけたらと思っています。